

令和6年度教育研究構想図

学校教育目標

一生懸命が素晴らしい

～夢と志を抱き、仲間とともに、主体的に生きる子どもの育成～

育てたい生徒像

- 周りから応援される生徒
- 自分自身が好きで、仲間を大切にし、人の痛みが分かる生徒
- 栗原が好きで、愛着と誇りを持てる生徒
- 夢や志を抱き、自ら学び、考え、判断し、主体的に行動できる生徒

確かな学力

- ・「基礎・基本」の徹底
- ・特別支援教育の充実
- ・小中連携の実施

豊かな心

- ・自己指導力の育成
- ・キャリア教育の推進
- ・外部人材の積極的な活用

健やかな体

- ・健康教育の充実
- ・部活動の充実
- ・体力づくり、食育の推進

研究主題

未来に向けてよりよい選択をする生徒の育成

～生徒全員が生き生きと取り組む「個別最適な学び」を通して～

研究内容

【行事・授業のイメージ図】

「特別支援教育の考え方を生かした個別最適な学び推進プロジェクト校」としての取組

【授業】さらにやってみたいとの意欲
次はこうしたいという見通し
【行事】やり終えた感動
次またがんばりたいという意欲
仲間意識

振り返り
(認める)

【授業】多様な答えの把握
自らの答えの修正 深化
次の問題への挑戦
【行事】改善方法の作成 → 取組

課題
(問い)

自己選択
自己決定
表現 交流
学び合い
自己肯定感

教え合い 協力
(思考2) ※修正

【授業】「問い」試行錯誤がある問い
選択する問い 深く考える問い
多様な答えのある問い
【行事】最善解を求めるような課題
計画の立案 実施方法の決定

考える
(思考1)

【授業】考えたことの表現 交流
表現の選択 ICTの活用
【行事】取組の実施 → 課題の把握

※ 生徒指導の三機能を基盤に、行事と授業を両輪として学力の向上を図る指導方法を研究する。

家庭との連携

基本的な生活習慣の定着

【○朝食の習慣化 ○睡眠時間の確保 ○家庭学習の習慣化】

小学校との連携

生徒指導連携の推進

【○生徒指導・家庭学習統一指導項目の設定 ○授業交流 ○学習指導方法の統一】

尾道中学校教育研究会との連携

指導方法等の交流

【○指導と評価の交流】